茅野市社会福祉協議会情報紙

やらざあ

Vol.93
2012年　9月号

ふみだそう、福祉でまちづくり

夏のボランティア体験

サマーちゃれんじ 2012

今年のサマーちゃれんじは7月23日(月)～9月7日(金)まで市内の福祉施設や保育園などで32人がボランティア体験をしています。

今回は、やすらぎの丘でボランティア体験をしている東部中学校の伊東和幹さんを訪ねお話を伺いました。伊東さんは3日間の体験ですが、この日は2日目で利用者さんと一緒におやつ用の寒天の型ぬきをしていました。

・やってみようと思ったきっかけは？

学校でチラシを見て、自分もお年寄りが好きなので、一度体験したかったからです。

・気を付けていることってある？

施設に勤めている母から「してあげる」のではなく「させていただく」という気持ちで…と言われそれを忘れないようにしています。

・実際やってみてどう？

仕事は大変だけど、自分の知らないことを話してくれるし「ありがとう」と声をかけてくれるので、とてもやりがいのある仕事だと感じました。学校が始まったら他の体験をした友だちと話すのを楽しみにしています。

金田和尚のつぶやき

今年の夏、我が家の駐車場の整備と低い土地の埋立てを、スコップと一輪車で土を運び地均し。ダンプカー三台分の砕石を敷き整地。この間、道路沿いなので、散歩の人、農作業の人に「おはようございます」「毎日暑いですねー」「ガンバリますねー」「熱中症にならないように」と様々な「挨拶」を交わした。また、道に迷われた方に順路を教えてあげると「ありがとうございました」と丁寧に頭を下げられた。挨拶を交わす度に心地よい爽やかな風が吹いた。

茅野市では地区や行政区で地域に合った「あいさつ運動」をしています。七月二十四日の新聞に、北山地区社協「あいさつ運動」標語入賞六人(北山小五年生)を表彰の記事。事務局より作品をお聞きしましたので紹介します。

◎あいさつで　みんなの心に　火を灯す
◎あいさつは　みんなの元気を　出す魔法
◎あいさつで　笑顔がいっぱい　あふれだす
◎あいさつで　笑顔をたくさん　広げよう
◎ありがとう　言われた人は　うれしいな
◎あいさつは　みんなの元気の　もとになる

出会いはまず「あいさつ」から。「毎日毎日の挨拶」「一期一会の挨拶」は大切。あいさつは「心と心、人と人」を結ぶ愛のかけ橋。

運行協力員の声

定年後、社会との接点を求めて応募しました。
地方の問題として、この制度があれば安心して老後を送れると思い、また自分が高齢になった時を想定して応募しました。
今はやりがいを感じています。

定年後、都内から茅野市に転居して知り合いづくりの一環として、社協の門を叩きました。
社協を通じて、知り合いの輪が広がりました。

やらざあの協力員募集をみて応募しました。
主婦の空いている時間を使っての協力ですが、利用者さんのありがとうの声が嬉しいです。

みんなの声

社協の移送サービス

出かける機会が少ないので、協力員さんと気軽に話ができるのが嬉しいです。
何度も顔を合わす協力員さんは、自分のことを分かってくれているので安心できます。

利用者の声

一人では出かけられないけれど、ヘルパーさんと一緒に利用させてもらい出掛けられる場所が増えました。
来てもらって嬉しかったです。

運行協力員募集！！

（ボランティア募集）

茅野市社協では、運行協力員として
お手伝いしてくださる方を募集しています。

内容：平日、午前８時３０分～午後５時の間で都合のつく曜日・時間で、車いすのまま乗降できる自動車による送迎、乗降介助

要件：・自動車第２種免許か普通免許をお持ちの方
（普通免許の方は、事前に講習に参加していただきます）
・おおむね６５歳未満の方
・福祉に理解と熱意があり体力に自信がある方

謝礼：・３０分…３５０円　・別途交通費はありません

移送サービスは市民参加型の福祉制度です。移送サービスを通じて社協や市の福祉制度を理解していただき、地域活動と近隣の助け合いの大切さを知るきっかけづくりになればと思います。是非多くの皆さんのご協力をお願い致します。

移送サービスへのお問い合わせ、ご利用及び、運行協力員への申し込みは、
社協７３－４４３１まで

こんにちは

社協の移送サービスです

茅野市社協では、心身の障害などで、一人でバスやタクシーといった公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、車いすのままで乗り降りできる自動車を使い、通院などの送迎をお手伝いする「移送サービス」を行っています。

茅野市では、以前ボランティアさんが自家用車を使って送迎活動を行なっていましたが、要望が多くなってきたことや安全面の配慮、また法令の問題などから市へ提言され事業化されました。誰もが安心して外出できるために、運行協力員も利用する側も市民の助け合いの中で行われています。

ご利用頂ける方

市内在住で心身の障害などで、一般の交通機関を利用して外出することが困難な方。

ご利用方法

①あらかじめ茅野市社会福祉協議会に利用者登録し、利用券を購入していただきます。

②利用希望日時を、電話等で社協に予約します。（希望日の２ヶ月前から２日前まで）

③利用の都度、距離に応じて利用券を運行協力員（運転手）に渡します。

年　会　費

年会費として１，０００円をお支払いいただきます。

年会費の期間は、毎年４月１日から翌年の３月３１日までです。

※年度途中で会員になられた場合も、金額は同額です。また、退会された場合の返金はいたしません。

ご利用料金

１冊５枚つづり（２，０００円）の利用券を購入していただきます。利用の距離に応じて、利用券を運行協力員（運転手）に渡します。

距　　離	利 用 券
５kmまで	１枚　（４００円）
５kmを越え~１０kmまで	２枚　（８００円）
１０kmを越え~１５kmまで	３枚（1,２００円）
１５kmを越え~２０kmまで	４枚（1,６００円）
２０kmを越え~２５kmまで	５枚（2,０００円）

運行時間

原則として月曜日から金曜日

（祝日と１２月２９日から１月３日を除く）

原則として午前８時３０分から午後５時

運行区間

茅野市内及び近隣の市町村（岡谷市、諏訪市、下諏訪町、富士見町、原村）

参加者募集

～ホームヘルパー（2級課程）養成講座を開講します～

日　　程　平成24年10月３日（水）～平成24年12月中頃（平日のみ）
内　　容　講義・実技・実習（130時間）
会　　場　講義…茅野市総合福祉センター（３階）他　　実技・実習…市内福祉施設
講　　師　各施設職員・医師・行政及び社協職員
資　　格　市内在住で、130時間すべて受講可能な方
受 講 料　茅野市社協会員　　４０，０００円
　　茅野市社協会員以外　　４５，０００円
　　（テキスト代・謝礼他実費等）
定　　員　30名（定員を超えた場合は選考）
申し込み　９月14日（金）～21日（金）午後５時まで　**締め切り厳守**
　　社協にある申込書にご記入の上、ご持参ください。
問い合わせ　茅野市社協　電話７３－４４３１　総務・企画係まで

社協会費を未納の方は ご協力ください

皆さまからご協力いただいている社協会費は、市内の地域福祉推進をすすめ、「誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくり」の貴重な自主財源として活用させていただいています。

社協会費は、年会費でお願いしておりますので、まだご協力いただいていない皆さまには、ぜひご協力をお願いいたします。

納入先：各地区コミュニティセンター又は、茅野市社会福祉協議会までお願いします。

ご連絡いただければ、お伺いいたします。

平成２４年度家庭介護者いこいの集い開催予定

日頃ご家庭で介護されている皆様が、心身のリフレッシュと介護者同士の情報交換をおこない、今後の介護の活力としていただけるよう、家庭介護者“いこいの集い”を行なっています。

期　日　平成24年10月12日（金）
行き先　富士花鳥園と朝霧高原
申し込み締め切り日
平成24年9月21日（金）

申し込み・お問い合わせ
茅野市社会福祉協議会（西部）
電話　８２－１３２８　まで

清拭布をお寄せください

介護の現場では、できるだけペーパータオルを使わず古布を、手洗い後の手拭きや清拭布として再利用しています。

家庭や旅館等で使わなくなったシーツ、浴衣、手拭やタオル、Tシャツなど（木綿、洗濯済）がありましたらご寄付をお願いします。

＊切っていただける場合は、手のひらサイズ（１５㎝×１５㎝）くらいでお願いします。

＊ご連絡いただければ、お伺いしますのでご協力をお願いします。

届け先及び連絡先　茅野市社会福祉協議会
（ＴＥＬ７３－４４３１）

不要になった入れ歯回収しています

入れ歯の金属部に含まれる金、銀、パラジウムを回収売却し、収益は世界中で飢えや病気で苦しむ子どもたちの救済資金や、地域福祉活動事業に活用されます。

回収ボックス設置場所
- **茅野市役所（塚原）**
- **茅野市総合福祉センター（塚原）**
- **茅野市老人福祉センター（塩沢）**

問い合わせ先　茅野市社会福祉協議会
（ＴＥＬ７３－４４３１）

ひとりで悩まず まず相談

人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください
（第３金曜日は年金相談もできます。）
毎週金曜日　午前9時～正午
相談員：心配ごと相談員
心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
（カウンセラー、精神保健福祉士が対応）

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口
毎月第１・３土曜日
午後１時～午後４時
第２・４金曜日
午後６時30分～午後８時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談
毎月第２水曜日　午後３時～午後５時
相談員：司法書士　予約電話／73－4431

あなたと家族の悩み相談　～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方ご相談ください
毎月第1月曜日　午後 ２時～午後４時
相談員：ボランティア
直通電話／82－0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日　午前8時30分～午後5時30分
電話／73－4431　ＦＡＸ／73－8030

相談は、総合福祉センター３階の相談室
または１階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 やらざあ Vol.93
2012年　９月号

２０１２年９月３日

発行／社会福祉法人　茅野市社会福祉協議会
編集／やらざあ編集委員会
〒391-0002　茅野市塚原2－5－45
TEL（0266）73－4431
FAX（0266）73－8030
URL: http://sharara.or.jp
E-mail : support@sharara.or.jp

読者の声

- 「やらざあ」の紙面は色づかいが大変きれいで、読みやすいです。今年は「茅野どんばん」が開催されることとなり、良かったです。父がこのお祭りを毎年楽しみにしています。
（48歳男性　湖東）
- おじいちゃん、おばあちゃんが楽しく暮らせる世の中になればいいね。（8歳女性　玉川）
- 金田和尚のつぶやき　過去に茅野市でも災害があり、そのお話が年代別に細かく書かれており、早々切りぬき自分の覚書帳に貼りつけました。ありがとうございました。
（84歳女性　宮川）
- どういった活動をされているのかが分かるので良いと思います。福祉は大変なイメージが強いです。（母も主人も介護の仕事についています）応援しています。
（30代女性　湖東）
- 小3、年長の子供が地震の時にすぐテーブルの下に入りました。学校、保育園の日頃の訓練が身に付いているんですね。
（30代女性　玉川）
- 先日、頂き物をおすそわけで孫の家に（2ケ）持って行くと、3ケなければママの分がないじゃんと……。自分の事だけでなく人への気遣いができるように成長しているんですね。
（60代女性　宮川）
- 人生の節目の還暦になりました。今年は新しいことに挑戦しよう!!と張り切っています。この度お世話になった方々に感謝しつつ、お役に立てる事をしたいです。
（60代女性　玉川）

今回はクイズ　正しいのはどっち？

普段、間違えやすい漢字を集めてみました。正しい漢字を書いてください。

○のうりょくが足りない。
脳力　―　能力

○書類をふくしゃする。
復写　―　複写

○他企業をほうもんする。
訪問　―　訪門

○ぜったいに無理
絶対　―　絶体

○文学をせんもんにしています。
専門　―　専問

応募要領
クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り
９月末日

前回の答え　①徳または得　②正直　③石　④知恵

当選者
平林淑子さん（宮川）山脇江実子さん（玉川）杉村智子さん（湖東）

社協情報紙 やらざあ の発行にはみなさんの会費が使われています。